

経営比較分析表／団体全体（令和5年度決算）

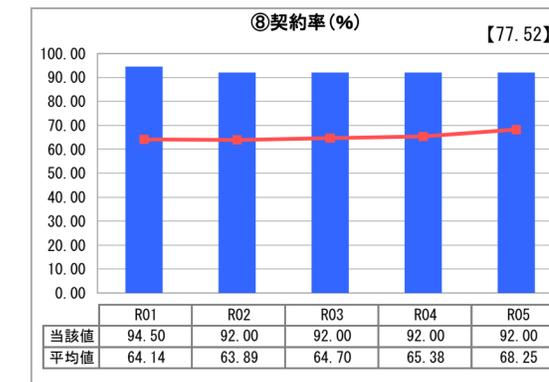
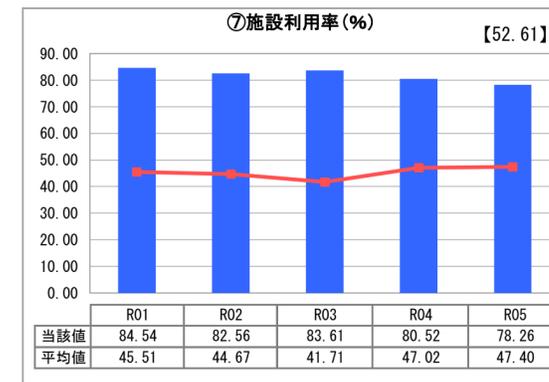
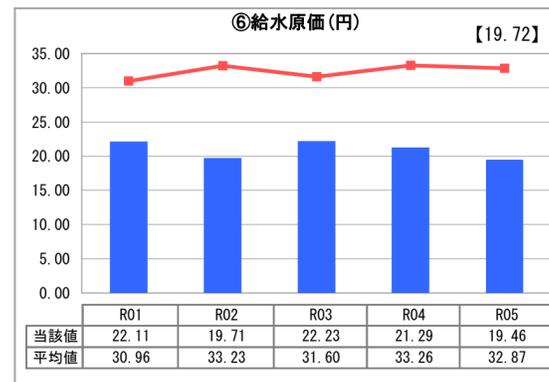
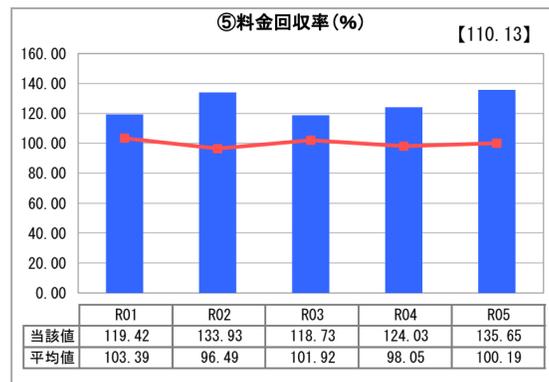
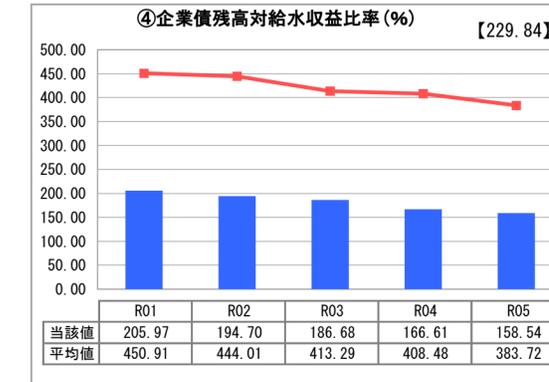
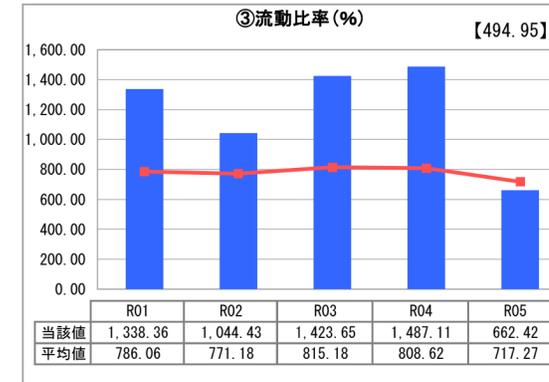
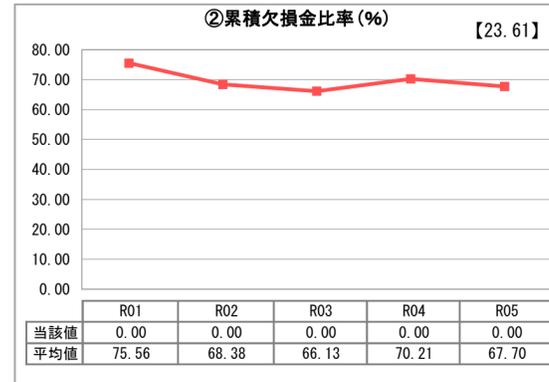
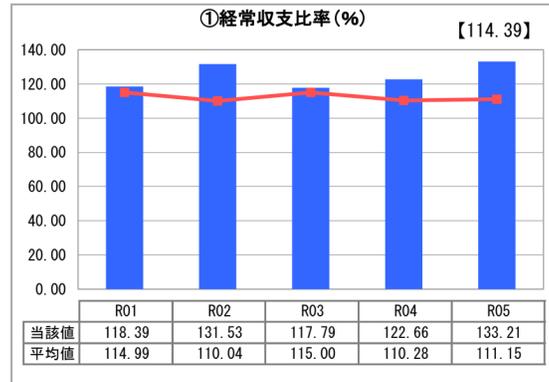
茨城県 高萩市

【事業概要】

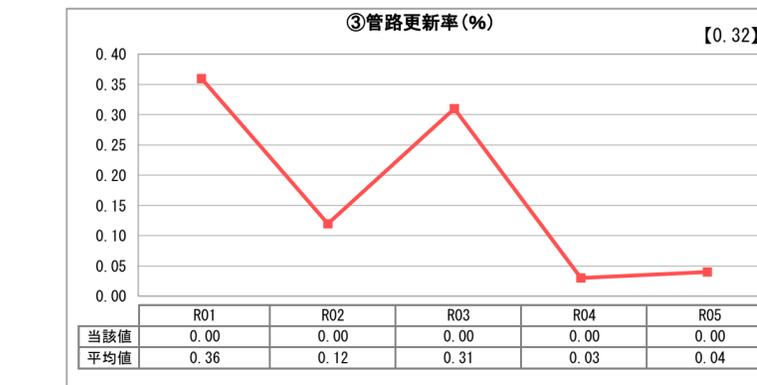
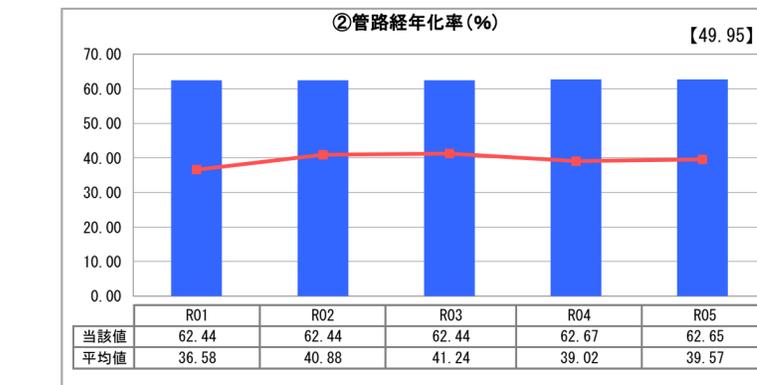
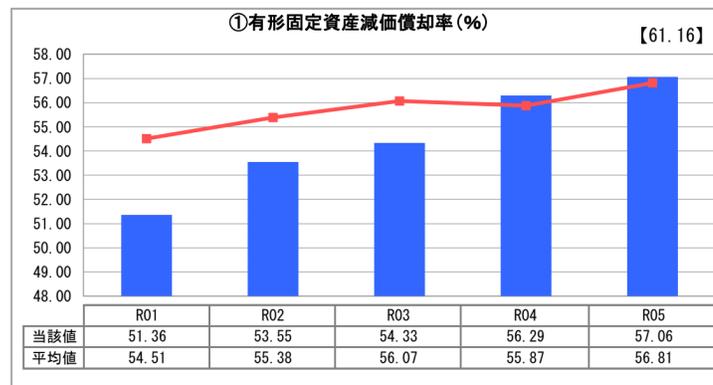
| | | | | | |
|-----------|-------------|-------------------------------|-------------------------|--------|--------------------------|
| 業務名 | 業種名 | 現在配水能力(合計)(m ³ /日) | 類似団体区分 | 施設数 | 1日平均配水量(m ³) |
| 法適用 | 工業用水道事業 | 20,000 | 小規模 | 1 | 15,651 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 給水先事業所数 | 契約水量(m ³ /日) | 管理者の情報 | |
| - | 77.5 | 5 | 18,400 | 非設置 | |

| |
|----------------|
| グラフ凡例 |
| ■ 当該団体値（当該値） |
| — 類似団体平均値（平均値） |
| 【】 令和5年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、類似団体平均値とほぼ同値となっている。施設等の老朽化が進み、更新投資等の財源を確保するため、経費削減等に努め、健全経営を図る。
 ②累積欠損金比率は、現時点では発生していないが、今後、維持管理費の増加が見込まれるため、引き続き経費削減を図る必要がある。
 ③流動比率は、類似団体平均値と比較し、高い値を保っているが、維持管理費の増加が見込まれるため、運営計画を立てる必要がある。
 ④企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値と比較し低い値を保っている。更新事業にかかる借入については、充当率を固定せず、経常収支比率などを検討しながら行う必要がある。
 ⑤料金回収率は、類似団体平均値より高い値を保っているが、電力料の値上げをはじめとする物価高騰による経費増加や今後の施設等の更新を視野に入れ、経費削減に努めながら、将来的な料金についての検討が必要となっている。
 ⑥給水原価は、類似団体平均値より低い値であり、自然流下による配水及び契約率が高いことによるものである。
 ⑦施設利用率は、類似団体平均値と比較し、高い値ではあるが、浄水場更新の際は、ダウンサイジング等の検討をする必要がある。
 ⑧契約率は、前年度と同値で、類似団体平均値より高く90%台を維持しており、適切な規模の投資ができていていると考えられる。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、R04から類似団体平均値を超えた値となっている。H28年度策定の「高萩市工業用水道事業基本計画」に基づき、計画的に更新を図っていく必要がある。
 ②管路経年化率は、類似団体平均値より高く、法定耐用年数を超えた管路を多く保有している状況。管路更新について財源の確保に努め、「高萩市工業用水道事業基本計画」に基づき、計画的に進めていく必要がある。
 ③管路更新率は、類似団体平均値より低い値となっている。今後は耐震性などの災害対策も視野に入れ、「高萩市工業用水道事業基本計画」に基づき、計画的に進める必要がある。

全体総括

全体としては、類似団体平均値と比較し、良好な状況であると思われるが、今後は老朽管路の更新及び浄水場施設更新工事等による建設改良事業費の増加が見込まれるため、工業用水道料金改定についても事業とともに検討していく必要がある。「高萩市工業用水道事業基本計画」を基に計画的に事業を進めるためにも、引き続き経費削減に努め、健全な経営を図っていく必要がある。